

社会資本総合整備計画(第2回変更)

袖ヶ浦駅周辺地区の暮らしやすい都市の実現

平成 31 年 1 月 24 日

千葉県袖ヶ浦市

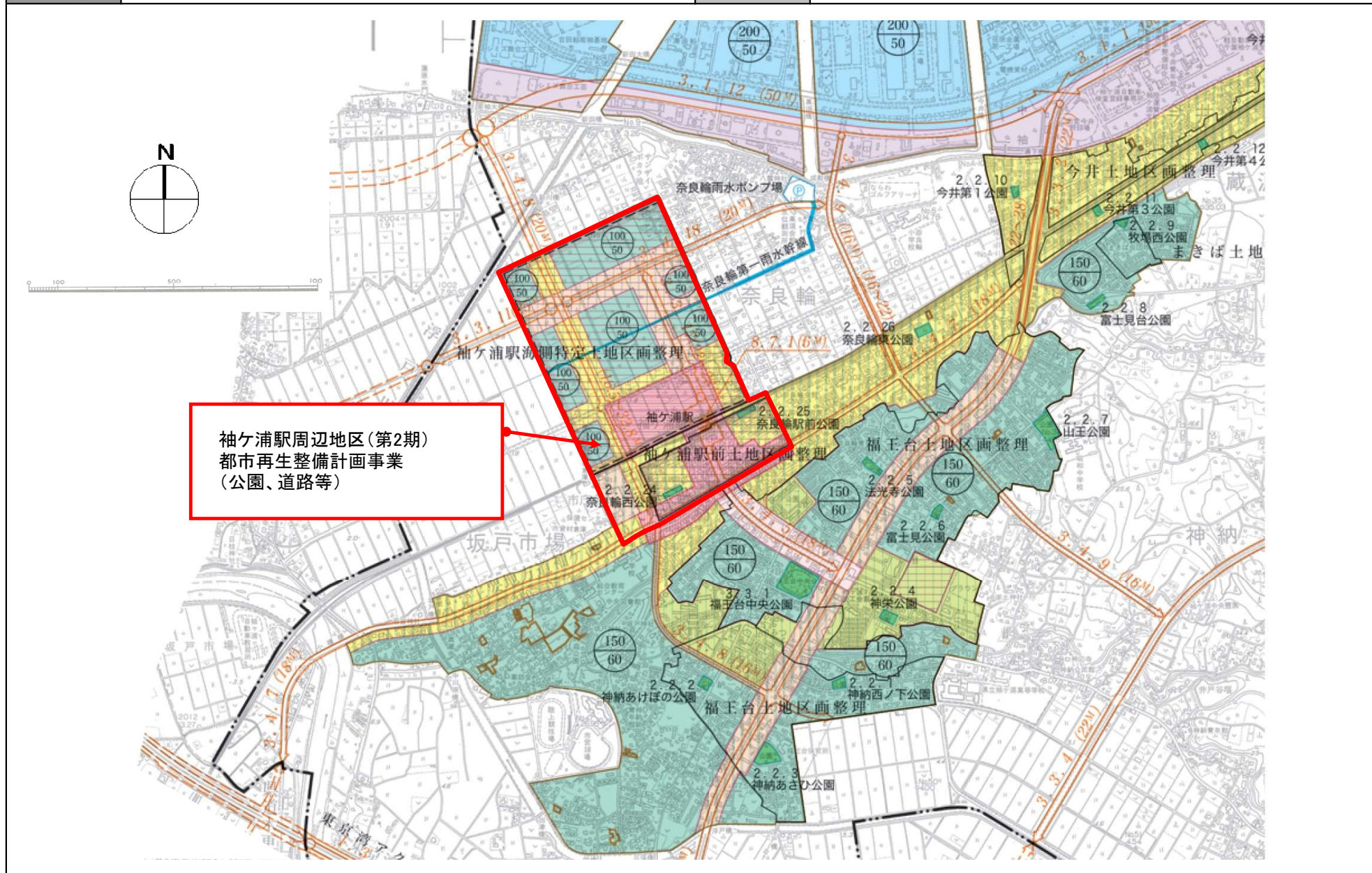
社会資本総合整備計画（市街地整備）

年 月 日

計画の名称	袖ヶ浦駅周辺地区の暮らしやすい都市の実現										重点配分対象の該当							
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度（5年間）					交付対象	袖ヶ浦市											
計画の目標	・ 新市街地や駅、市役所等の都市機能が集積する袖ヶ浦駅周辺の市街地の利便性向上、防犯機能等の強化により、コンパクトで暮らしやすいまちづくりを推進する。																	
計画の成果目標（定量的指標）																		
・ 袖ヶ浦駅北側の一定地点から袖ヶ浦市役所までの徒歩による平均移動時間を14分45秒（H27）から11分30秒（H29）に短縮する ・ 土地区画整理区域内における公園の誘致圏人口を70人（H26）から1,300人（H32）に増加する ・ 市民意識調査における防犯に対する満足度を58.2点（H26）から60.0点（H32）に増加する																		
定量的指標の定義及び算定式																		
袖ヶ浦駅北側の一定地点から袖ヶ浦市役所までの徒歩による平均移動時間 土地区画整理区域内における公園の誘致圏人口 市民意識調査における防犯に対する満足度										定量的指標の現況値及び目標値			備考					
										当初現況値	中間目標値	最終目標値						
										(H27)	(H30)	(H32)						
										14分45秒	14分45秒	11分30秒						
										70人	800人	1,300人						
										58.2点	59.1点	60点						
全体事業費	合計 (A + B + C + D)		328百万円	A	328百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0.0%					
交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)		市町村名	事業実施期間（年度）			全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
A-1	都市再生	一般	袖ヶ浦市	直接	袖ヶ浦市	袖ヶ浦駅周辺地区（第2期）都市再生整備計画事業		公園、道路等 66ha		袖ヶ浦市	H28	H29	H30	H31	H32	328.2		
											合計			328.2				
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名		事業内容 (延長・面積等)		市町村名	事業実施期間（年度）			全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
											H26	H27	H28	H29	H30	0		
											合計			0				
C 効果促進事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名		事業内容		市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）			全体事業費 (百万円)	備考			
											H26	H27	H28	H29	H30	0		
											合計			0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
C-1	地域の意見を反映し、地域と連携した効果的な中心市街地の再生を推進する。																	
C-2	空き店舗の改修（A-3）にあわせ、地域のニーズにあった魅力ある商業サービスの展開を図る。																	
C-3	市街地再開発事業（A-2）の保留床を取得し、地域の歴史・文化を発信する拠点を形成する。																	
C-4	バス走行空間の改善（A-3、A-4、A-6）に合わせ、中心市街地の循環バスを整備し、中心市街地の移動利便性の向上を図る。																	
C-5	公共空間を有効に活用し、周辺商業施設と一体となったにぎわいを創出する。																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (面積等)		市町村名	事業実施期間（年度）			全体事業費 (百万円)	備考			
											H26	H27	H28	H29	H30	0		
											合計			0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 袖ヶ浦駅周辺地区の暮らしやすい都市の実現		
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度 (5年間)	交付対象	袖ヶ浦市



(参考) 年次計画

(事業費: 百万円)

基幹事業

事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
都市再生整備計画	袖ヶ浦駅周辺地区(第2期)		328.2	61.4	20.4	47.6	24.2	174.6
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
計			328.2	61.4	20.4	47.6	24.2	174.6

効果促進事業

事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
			0.0					
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

合計

			328.2	61.4	20.4	47.6	24.2	174.6
--	--	--	-------	------	------	------	------	-------

累計進捗率（％）

				18.7%	24.9%	39.4%	46.8%	100.0%
--	--	--	--	-------	-------	-------	-------	--------

都市再生整備計画(第2回変更)

そでがうらえきしゅうへん
袖ヶ浦駅周辺地区(第2期)

千葉県 そでがうら
袖ヶ浦市

平成31年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	そでがうら 袖ヶ浦市	地区名	そでがうらえきしほうへん 袖ヶ浦駅周辺地区(第2期)	面積	66 ha
計画期間	平成28年度	～	平成32年度	交付期間	平成28年度	～	平成32年度

目標
大目標:新市街地や駅、市役所等の都市機能が集積する袖ヶ浦駅周辺の市街地の利便性向上、防犯機能等の強化により、コンパクトで暮らしやすいまちづくりを推進する。 目標1:駅北側の新市街地と市役所等の行政拠点を結ぶ幹線道路周辺の道路整備により、アクセス性、安全性の向上を図る。 目標2:公園整備、防犯灯の設置により、快適な居住環境を確保する。 目標3:防犯灯の整備により、防犯機能の強化を図る。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
袖ヶ浦市は、首都圏近郊整備地帯の外縁部に位置し、東京都心から約40kmの距離にある。臨海部は昭和40年代に始まった埋立造成の進展に伴い大規模工場が進出し、これを契機に内陸部の丘陵地においては、土地区画整理事業や民間宅地開発事業等により住宅市街地が形成された。 袖ヶ浦駅周辺地区は、JR内房線袖ヶ浦駅を中心として、駅の南側には土地区画整理事業による市街地が形成され、人口集中地区となっている他、市役所などの公共施設が集積している。駅の北側は平成29年度に土地区画整理事業の完了を予定している。 平成9年の東京湾アクアラインの開通を受け、その着岸地であり、現在市街地整備が行われている木更津市金田地区と至近距離にあることから、同地区(金田西地区、金田東地区)とともに、東京湾アクアライン着岸地構想の一角を担う。 今後は袖ヶ浦駅海側土地区画整理事業の完了に合せた公園や周辺道路の整備、交通結節性を活かしたまちづくりが求められる。
課題
・土地区画整理事業地内の土地利用が開始される一方、公園や防犯灯、自転車駐車場等、一部未整備の施設がある。 ・JR内房線により分断される袖ヶ浦駅周辺地区南北のアクセス性の向上。 ・駅周辺のハード整備事業が概ね進展する中で、駅周辺にふさわしいまちづくりの方策が求められる。
将来ビジョン(中長期)
都市計画マスタープランでは、JR内房線袖ヶ浦駅周辺地区を商業・業務などの都市機能の充実を図るとともに、地域の生活拠点、行政拠点として、人々の交流を促し、にぎわいと魅力あるまちづくりを目指すとしている。 また、高齢社会に備え、誰もが安全に楽しく豊かな市民生活が送れるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインに基づいたまちづくりを推進するとしている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
						目標年度	
袖ヶ浦市役所へのアクセス時間	分・秒	袖ヶ浦駅北側の一定地点から袖ヶ浦市役所までの徒歩による平均移動時間	交通結節点の整備により、袖ヶ浦市役所までの移動時間を短縮する。	14分45秒	27(年度)	11分30秒	29(年度)
快適な居住環境の確保	人	土地区画整理区域内における公園の誘致圏人口	公園を整備し、快適な居住空間を確保する。	70人	26(年度)	1,300人	32(年度)
住民満足度(アンケート)	点	市民意識調査における防犯に対する満足度	防犯対策に関する地域住民の満足度が上昇する。	58.2点	26(年度)	60点	32(年度)

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1（駅、市役所周辺のネットワーク整備） ・駅北側の新市街地、市役所周辺の幹線道路整備に併せ、市役所と幹線道路を結ぶ取付道路の整備を行う。		【基幹事業】 道路：市道奈良輪1号線整備、市道奈良輪9号線整備 高質空間形成施設：シェルター設置 【関連事業】 土地区画整理事業袖ヶ浦駅海側地区、都市計画道路高須箕和田線整備、都市計画道路西内河高須線整備、都市計画道路西内河根場線整備
	整備方針2（市の拠点地域にふさわしい快適でにぎわいのあるまちづくり） ・住民の生活利便性の向上、快適な居住空間を確保するため、街区公園、近隣公園、自転車駐車場等の整備を行う。	【基幹事業】 公園：2号街区公園、3号街区公園、4号街区公園、5号街区公園、近隣公園 地域生活基盤施設：袖ヶ浦駅北口自転車駐車場整備、袖ヶ浦駅南口第1・第2自転車駐車場整備 【提案事業】 地域創造支援事業：防犯灯設置事業 【関連事業】 土地区画整理事業袖ヶ浦駅海側地区、駅前にぎわい創出事業
	整備方針3（安全・安心なまちづくり） ・防犯対策により安全・安心なまちづくりを推進するため、防犯灯設置事業を行う。	【提案事業】 地域創造支援事業：防犯灯設置事業
その他 ・交付期間中の円滑な事業推進と、目標に向けた効果を上げるため、各事業の横断的な協議・調整を図るとともに、進捗状況を検証し事業計画の適切な管理に努める。 ・駅周辺地区の特性に合わせた景観形成のため、土地区画整理事業区域内を景観推進地区に指定し、質の高い景観まちづくりを推進する。		

交付対象事業費	328	交付限度額	131	国費率	0.4
---------	-----	-------	-----	-----	-----

基幹事業	
------	--

...A

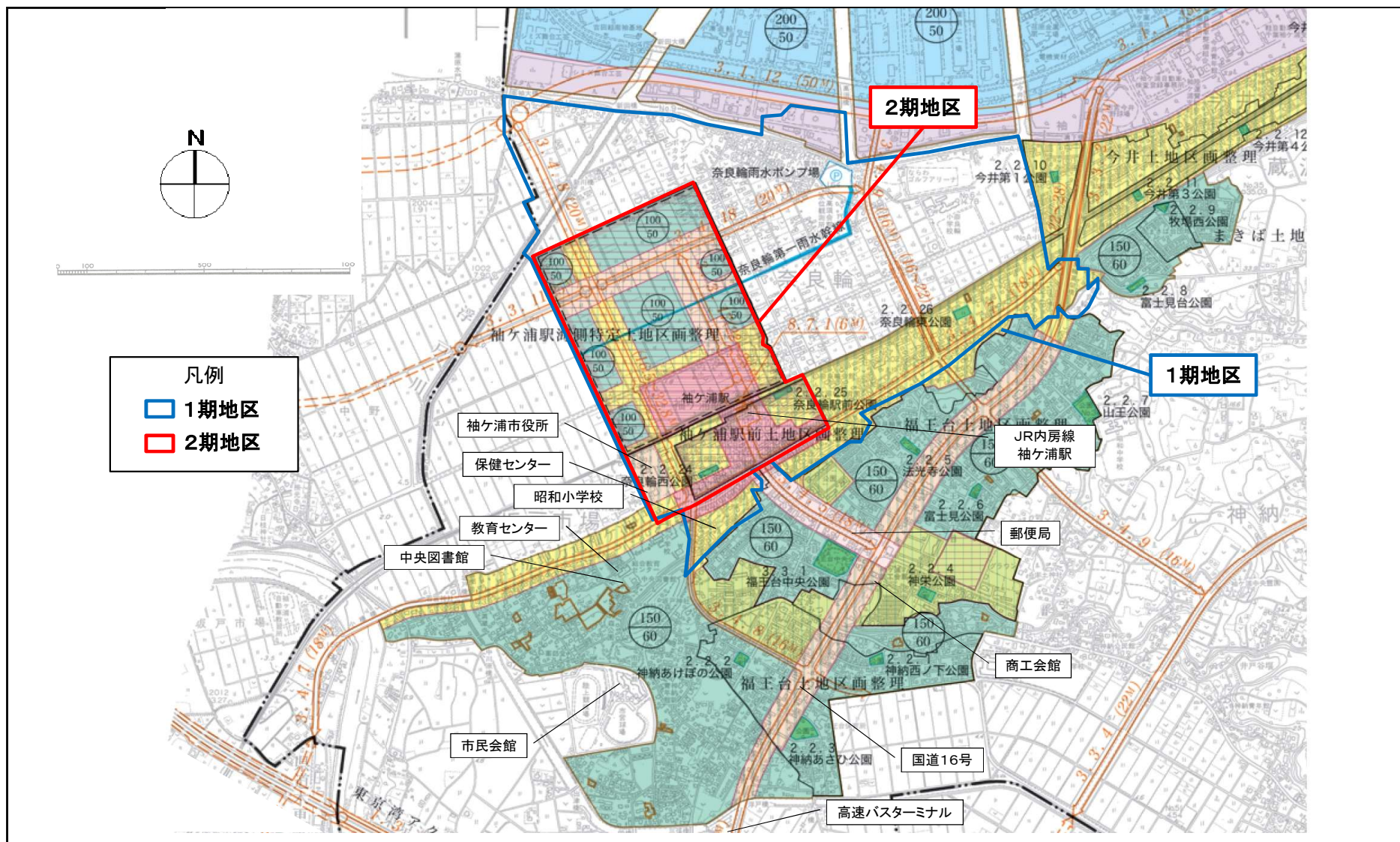
...B

328

[illegible]

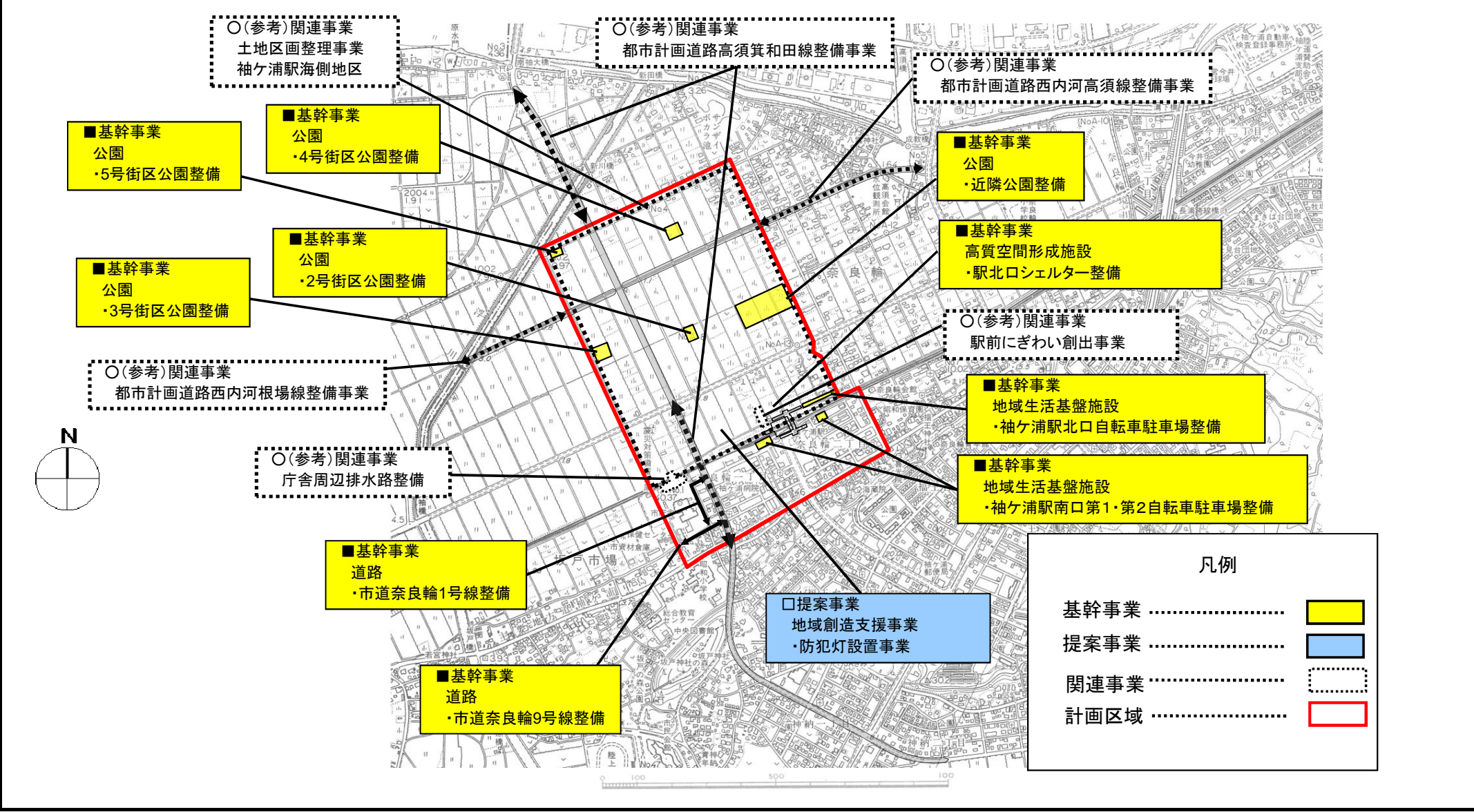
都市再生整備計画の区域

袖ヶ浦駅周辺地区(第2期)(千葉県袖ヶ浦市)	面積	66 ha	区域	奈良輪1・2丁目、奈良輪の一部、坂戸市場の一部
------------------------	----	-------	----	-------------------------



袖ヶ浦駅周辺地区(第2期)(千葉県袖ヶ浦市) 整備方針概要図

目標	新市街地や駅、市役所等の都市機能が集積する袖ヶ浦駅周辺の市街地の利便性向上、防犯機能等の強化により、コンパクトで暮らしやすいまちづくりを推進する。	代表的な指標	袖ヶ浦市役所へのアクセス時間 (分・秒)	14分45秒 (H27年度)	→	11分30秒 (H29年度)
			公園の誘致圏人口 (人)	70人 (H26年度)	→	1300人 (H32年度)
			住民満足度(アンケート) (点)	58.2点 (H26年度)	→	60点 (H32年度)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:袖ヶ浦駅周辺地区(第2期)

事業主体名:袖ヶ浦市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○